

平成 15 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 ネクストウェア株式会社  
代表者名 代表取締役社長 豊田 崇 克  
(コード番号 4814)  
問合せ先 取締役副社長 太田 修 啓  
TEL (06) 6281 - 9866

### 通期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 14 年 5 月 24 日の決算発表時に公表いたしました平成 15 年 3 月期(平成 14 年 4 月 1 日から平成 15 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

1 .平成 15 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
今 回 修 正 (A)	3,400	27	29
前 回 予 想 (B)	4,300	150	75
増 減 額 (A) - (B)	900	123	46
増 減 率	20.9%	82.0%	61.3%
前 期 実 績	3,717	125	59

2 .平成 15 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
今 回 修 正 (A)	3,300	21	23
前 回 予 想 (B)	4,000	150	75
増 減 額 (A) - (B)	700	129	52
増 減 率	17.5%	86.0%	69.3%
前 期 実 績	3,629	136	68

### 3. 業績予想修正の理由

#### (1) 単独業績の修正理由

当社は、当上半期において、取引先の民事再生法申請による貸倒損失（53 百万円）と当連結会計年度よりの賞与の支給対象期間変更による引当て繰入れ（29 百万円）が、利益圧迫要因となりましたが、通期の業績予想につきましては、中間決算時点において下記の前提に予想を行ないました。

アウトソーシング事業における下半期の新規・既存顧客の引き合い・受注増が見込まれる。

ウェアコンサルティング事業における新製品・サービス（POSCM・訪問看護支援システム「翡翠」）の市場投入効果が見込まれる。

しかしながら、昨年後半から景気の低迷が深刻化し、市場は急速にIT投資の抑制へと転じ、予想を上回る発注手控え（約 250 百万円）に加え、アウトソーシング事業での大型案件の検収遅延（約 200 百万円）が発生したこと、ウェアコンサルティング事業で製品等の立ち上がり、顧客への浸透の遅れにより、売上のずれ（250 百万円）が発生したこと等により、期首に見込んでいた売上高の達成が困難となりました。

一方、経常利益及び当期純利益については、以下の理由により、前回予想を下回ることになりました。

アウトソーシング事業の発注手控えによる利益悪化（38 百万円）

検収遅延が発生した案件の利益悪化（30 百万円）

ウェアコンサルティング事業の売上ずれにより発生した利益悪化（61 百万円）

#### (2) 連結業績の修正理由

上記単独の業績修正に加え、連結子会社の業績につきましても、中間決算時点の予測を下回る見通しとなったため、前記の通り通期連結業績見通しを修正いたします。

以 上